

「勝平安」、^{かつひらやす}「福豊喜」^{ふくとよき}産子の育成時の特徴

福島県農業総合センター畜産研究所肉畜科

1 部門名

畜産－肉用牛－畜産ほ育・育成

2 担当者

渡邊鋼一・古閑文哉・石川雄治・内田守譜・鈴木庄一・壁谷昌彦・荻野隆明・佐藤亮一

3 要旨

新たな基幹種雄牛の早期活用を推進するために、種雄牛候補牛である現場後代検定牛産子の育成時における発育状況調査や外貌審査による種牛性の評価を実施したところ、「勝平安」、「福豊喜」が有望である。

(1) 「勝平安（父：北平安、母の父：平茂勝、母の母の父：安平）」産子

- ア 発育 平均値程度であるが、体幅があり、後躯が充実している。
- イ 美点 体幅、特に中躯、尻幅が高く評価でき、資質、皮膚、被毛が良好である。（図1）
- ウ 欠点 前軀幅、肩（肩付き）、均称が挙げられる。栄養度が高く、脂肪が蓄積しやすいものが多い。

(2) 「福豊喜（父：安糸福、母の父：平茂勝、母の母の父：紋次郎）」産子

- ア 発育 体高で、去勢、雌ともに高い能力を持つ。胸深を除くその他の部位についても、概ね平均値を上回るが、体高に対しては不足する傾向にある。
- イ 美点 発育、体上線、皮膚、被毛等資質に優れる。（図2）
- ウ 欠点 体幅の充実が乏しく、長脚に見える産子が多い。

表1 各種雄牛産子の移管時における測尺値

去勢	頭数	調査日齢 (日)	体高 (cm)	胸囲 (cm)	胸深 (cm)	尻長 (cm)	かん幅 (cm)	体重 (kg)	雌	頭数	調査日齢 (日)	体高 (cm)	胸囲 (cm)	胸深 (cm)	尻長 (cm)	かん幅 (cm)	体重 (kg)
平均値	10	302.6	118.0	158.9	59.9	46.1	41.4	316.3	平均値	12	299.6	111.8	153.8	55.3	43.1	39.1	280.5
勝平安 標準偏差		18.7	2.9	6.4	3.2	1.5	2.0	24.7	標準偏差		27.8	3.0	8.1	2.6	1.7	2.0	33.3
σ値※			0.7	0.4	1.0	0.3	0.4	0.3	σ値※			-0.2	0.8	0.6	0.7	0.9	0.3
平均値	8	297.9	119.3	157.6	60.1	46.4	41.4	294.6	平均値	8	294.9	115.2	150.0	55.8	43.8	39.8	262.1
福豊喜 標準偏差		21.7	4.2	6.6	2.8	1.8	3.4	33.5	標準偏差		26.3	3.3	4.0	1.4	1.3	2.1	20.9
σ値※			1.2	0.3	1.3	0.6	0.5	-0.2	σ値※			0.9	0.3	0.9	1.2	1.4	-0.2

※ σ値は各種雄牛の調査日令における各測尺項目平均値と黒毛和種標準発育値との比較による。



図1 「勝平安」産子の外貌審査結果



図2 「福豊喜」産子の外貌審査結果

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 「ブランド福島牛」を確立する本県産黒毛和種種雄牛の作出（現場後代検定牛の育成時の特性解明）
- (3) 参考となる成果の区分 指導参考

5 主な参考文献・資料

なし